

す・とうぶだより

2019-04月号

食べて感じる

農業の魅力。

若手農家×料理人「食べて感じる農業の魅力」セミナーに行つてきました。

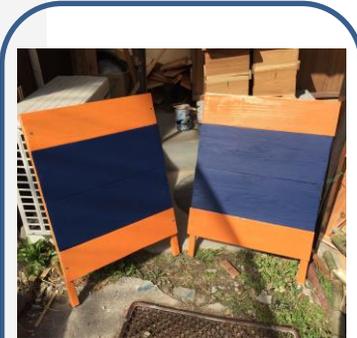
切つても切り離せない食と農について、現役の若手農家の方と料理人の方のお話を聴くことができました。

農家の方の苦労や、スーパーで売っている野菜がどのような過程で届けられているか? など、あまり知られていない農家の実情を教えていただくことで、農作物のすごさやありがたみが、とても伝わるイベントでした。

このようなイベントを通じて農業のファンが増えれば、素晴らしいことだと感じました。(青野)



講演の他に、野菜を使った料理の試食もありました。



モノクロなのでわかりにくいのですが、上下がオレンジ、中央はネイビーブルー。

東部山間地域では梅が咲き終わり、ぼちぼち桜が開花し始める頃でしょうか。

春から夏にかけて、はちみつやえごま関連で、いくつか出店させていただけそうなので、その準備を進めています。

出店用の看板を自分で作ってみました。

上下部分のはちみつとえごまをイメージしたオレンジ、中央はネイビーブルーの黒板塗料を塗っており、値段や商品説明をチョークで色とりどりに書いています。

色々と出店について考えることが今の楽しみです。(加藤)

出店用の看板作り。

協力隊全国サミット。

東京渋谷で開催された地域おこし協力隊全国サミットへ昨年に引き続き行ってきました。

全国で活動している現役の協力隊員やOB・OG、受入自治体関係者等が一堂に集結するイベントです。

「地域とデザイン」をテーマとした講演や、協力隊活動を行うていくうえで参考となるワークショップ、全国各地の協力隊員による展示・物販ブースなど、盛りだくさんの内容でした。

多くの仲間たちと交流することで、我々の活動のモチベーションアップになりました。(松村)



各地の協力隊員による出店ブースでは、PRだけでなく、手作りの商品や加工品等の販売もありました。